



# 桜が丘小学校 令和3年度 学力向上プラン



～学力の定着・向上とよりよい生活習慣・学習習慣の確立のために～

## 学校では

基礎・基本の定着をめざして、ⅠとⅡを重点的に取り組んでいきます。

## 家庭では

子どもの安定した生活リズムや学習習慣の確立へⅢとⅣを進めます。

### Ⅰ 基礎・基本を定着させます！

- 音読や暗唱を積極的に取り入れます。(授業・家庭学習)
- 漢字・計算の反復練習に取り組みさせます。
- ミニテストなどを定期的に行い、習熟の状況を把握します。
- 朝の国語・算数タイムにおいて、基礎問題やチャレンジ問題に取り組ませ、既習事項の定着を図ります。

### Ⅱ 授業の充実を図ります！

- 問題解決的・体験的な学習を意識し、思考力・表現力を育成します。
  - 学習の目標(めあて)を明確にし、1単位時間の学びを確実にまとめていきます。
  - 自分の考えを持つために、書く活動を取り入れます。
  - ペア・グループ学習など学び合う場を設けます。
- 1単位時間の学びがわかる板書づくりを行います。
- 授業においてデジタル教科書や書画カメラ、大型テレビを毎日活用します。
- 学年の発達段階に応じてChromebookを使用し、調べ学習や発表を行います。
- 学校図書館司書を積極的に活用し、読書活動の充実を図ります。

### Ⅲ 生活リズムを整えましょう！

- 早寝・早起きをしましょう。\*適切な睡眠時間の確保を！
- 朝食をしっかりとりましょう。
- 外で元気に遊ぶ(体を動かす)時間をつくりましょう。
- メディア(テレビ、ゲーム、スマートフォン等)に触れる時間などルールを決めましょう。
- 生活リズムチェックカードを使って家庭生活の在り方を振り返りましょう。

### Ⅳ 家庭学習の習慣をつけましょう！

- 毎日の家庭生活の中に、学習する時間を位置づけましょう。
  - 学習時間の目安 学年×10分以上(例:6年生…60分以上)
- 勉強のときは、
  - テレビは消しましょう。 ○よい姿勢でしましょう。
  - 勉強する場所は整理整頓しましょう。
- 学年や発達段階に合わせて、自主学習に取り組んでいきましょう。
  - 高学年では、自主性や課題解決に取り組む態度の育成を目指しましょう。
- 以下のようなものも学力向上のために効果的です。
  - 家族10分読書 ○辞典類を身近に置いておく
  - ニュース番組や新聞記事について親子で話し合う

### V 取組内容(重点目標)

	学校全体としての取組	各種調査結果を踏まえた取組
【国語科】	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の国語タイムで、計画的に反復学習に取り組ませる。</li> <li>漢字小テストを定期的に行い、定着を図る。</li> <li>学年に応じて目標冊数を設定し、読書活動を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の漢字は日々の学習の中で使うよう指導する。</li> <li>聞いたり読んだりするときに、要点などを考える時間を十分にとる。</li> <li>文章を図と結び付けるなど、文章構成に着目する手立てを打つ。</li> </ul>
【算数科】	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の算数タイムで、計画的に反復学習に取り組ませる。</li> <li>算数小テストを定期的に行い、概念等の定着を図る。</li> <li>一斉指導と個別指導を組み合わせることで底上げを図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数直線や図を活用させ、数量関係をしっかりと掴ませる。</li> <li>概念の説明、方法の説明など自身の学びを言葉でまとめさせる活動を行う。</li> <li>算数科の学習用語や求積の公式を反復して学習に取り入れる。</li> </ul>
【理科】	<ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験など実感を伴う授業を実践する。</li> <li>理科の学習用語を用いて、観察や実験結果、概念等をまとめる。</li> <li>理科で学習したことを実生活と結び付けて考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実生活と結び付けた問題設定や結果の考察を行わせる。</li> <li>観察や実験結果、概念をまとめる時間を意図的に設定する。</li> </ul>
各教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表する際には、学習用語を用いて、根拠を基に自分の考えを述べるよう指導する。</li> <li>学び合いの場を授業の中で意図的に設定する。</li> <li>ICT機器を活用し、分かりやすい授業、児童が主体的に活動する授業を行う。</li> </ul>	